

電動式自動開閉トイレブースシステム

製品紹介はコチラ▼



トイレの新常識 触れないトイレ!

Autozeal

オートジール

作品の概要 / Project Summary

オートジールは、ドアや施錠装置に直接手を触れることなく、公共トイレの扉が自動で開閉し、施錠まで行います。
 また手をかざすだけの簡単操作なので、車いすの方でも不自由なく操作が可能で、清潔かつ感染症対策にも繋がります。
 さらに、施設の施錠状態を一元で管理することも可能で、非常時もリアルタイムで確認できます。施設の安全管理体制の向上をサポートします。

シブタニは75年という歴史ある金物メーカーでありながら、電気錠システムのノウハウを併せ持つ会社。
 そのノウハウを活かし生まれたのがAutozealです。
 Autozealはこれからのトイレの常識を造り出す。そんな製品です。

Autozeal automatically opens and closes the doors of public toilets without touching the doors or locking devices. It even locks and unlocks.
 In addition, since it is a simple operation just by holding your hand, even a wheelchair can operate it without any inconvenience, which leads to cleanliness and measures against infectious diseases.
 Furthermore, it is possible to centrally manage the lock / unlock status of the facility, and it is possible to check in real time even in an emergency. We support the improvement of the safety management system of facilities.
 Shibutani is a hardware manufacturer with a history of 75 years, but also has the know-how of electric lock systems.
 Autozeal was born by utilizing that know-how.
 Autozeal creates the common sense of toilets in the future. It is such a product.



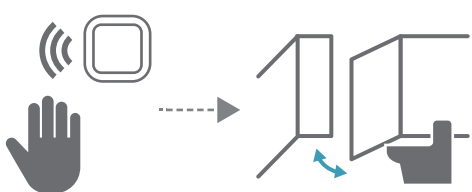
扉開閉ユニット	施錠ユニット	操作ユニット	人感センサ	表示ユニット	メインユニット
					NO IMAGE

		内開き標準設定
触れずに開閉	院内感染を抑制	有事の際には外開きに

機能性 / Functionality

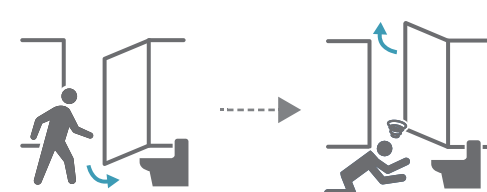
優れた操作性

手をかざすだけの簡単操作で、どんな方でも不自由なく操作が可能です。



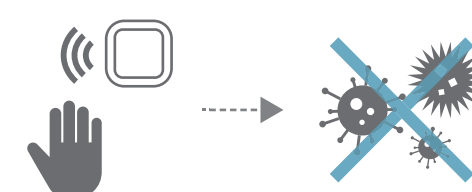
安全性向上

外開き扉は人に当たりケガをさせてしまう危険性があります。Autozealは内開き標準設定とし、安全性を向上しています。



感染を抑制

不特定多数の人が触る「扉」や「施錠装置」に触れる必要がないため、病院等でウイルス感染を抑制します。



トイレの在室時間を遠隔で管理

リアルタイムで施錠状態を管理できるので、非常時も迅速に対応できます。設定時間以上の施錠状態を確認すると状態異常を発信。



社会性・経済性 / Sociality & Economics

コロナなどの感染症対策として

細菌やウイルスは、多くの人が触れるところを介して、手に付着します。特にトイレは不特定多数の方が利用し、ウイルスの感染源となりやすい場所です。オートジールは感染リスクを軽減し、安心してトイレを利用いただけます。

トイレの安全を管理できる

リアルタイムに施錠・解錠状態を把握でき、非常時の際も迅速に対応可能。一元管理できるから、安心・安全・スピーディー。また商業施設でのスマートフォン操作や仮眠などのトイレの独占を軽減します。

※オートジールは、接続信号を出力するまでとなります。管理システムは別途必要です。
 ※全ユニット仕様ではなくメインユニットと開閉センサのみでも運用可能です。詳細はお問い合わせください。

評価表 (自己評価) / Environment&ME Design Evaluation Criteria (Self-evaluation)

評価項目	評価基準	自己評価	
		満足	不満足
A. 操作性 (操作性)	01 操作性: 簡単な動作で扉を開閉し、施錠・解錠を行う。手動でも対応可能。	○	○
B. 機能性 (機能性)	02 耐久性: 繰り返し動作に耐える構造を採用。	○	○
	03 利便性: 施錠・解錠の操作が簡単で、誰でも利用可能。	○	○
	04 安全性: 扉の開閉時に障害物がないことを検知し、扉を閉めずに開閉する。	○	○
	05 完成度: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○
	06 操作性: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○
C. 社会性 (社会性)	07 利便性: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○
	08 安全性: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○
	09 完成度: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○
	10 操作性: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○
D. 経済性 (経済性)	11 利便性: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○
	12 安全性: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○
	13 完成度: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○
	14 操作性: 扉の開閉時に扉の隙間が狭く、漏れが少ない。	○	○

